

第51号 2026年9月号

花しょうぶ



熱田鯨城会より

目次

➤ 会長挨拶 -----	3
➤ 令和8年度役員名簿 -----	4
➤ 令和8年度事業計画 -----	5
➤ 新入会員紹介 -----	6
&名古屋市都市美化連盟会長賞&学芸員は名探偵	
➤ 令和8年度総会・懇親会 -----	7
➤ 中学校区行事:大高酒蔵開き -----	8
&名古屋ウイメンズマラソン2026	
➤ 水質調査活動 ―引続き新堀川・日の出橋で― -----	9
➤ ゴキブリ団子作り -----	10
&市内一斉クリーンキャンペーンなごや2026	
➤ 鶴舞公園クリーンキャンペーン -----	11
& 道路清掃ボランティア	
➤ 土鈴・絵馬づくり(令和8年度地域ミーティング) -----	12
➤ 公開講座「命と都市をつないだ人」を受講して -----	13
➤ おもてなし一斉清掃 -----	14
➤ 納涼会 -----	15
➤ <熱田をもっと知ろう>三大古墳巡り -----	16~17
➤ 同好会の活動 -----	18
ハイキング同好会&ゴルフ同好会	
➤ 同好会の活動 -----	19
M&L 同好会(映画とランチ)&健康麻雀同好会&熱田歌声会	
➤ 編集後記 -----	20

※表紙写真一ロメロ

写真撮影 玉利

堀川まつり

無病息災、疫病退散並びに堀川の浄化を願って
6月6日に宮の渡し公園で行われた
「第37回堀川まつり」は約1,000年前の
南新宮社祭(熱田天王祭)を起源としている。

堀川に浮かべたまきわら船(大まきわら、中まきわら)が
水面を照らしつつ、獅子舞の演舞や鳴りひびく太鼓演奏に
よって提灯行列も加わり、花火の打ち上げはありませんで
したが堀川に出現した夢幻の世界と雄大な美しさは
見事なものでした。



ごあいさつ

熱田鯨城会会長 平野雅美



令和 8 年度の熱田鯨城会の会長職を、引き継ぐことになりました
33 期アクティブ福祉学科、フォークソングクラブ出身の平野雅美です。

私は地元出身ですが、29 歳の時名古屋を出て 65 歳で名古屋に
戻りました。そして 2 年後に鯨城学園を知り入学し、卒業しました。
36 年ぶりの名古屋でしたので、友人・知人を求めて熱田鯨城会に
入会しました。

移り住んだ熱田区は 16 区でも最少人口地区で、市内の人口比率は
わずか 2.9%でした。

今期新入会員はお一人で、スタートは 62 名という会員数です。

少数精鋭といえども余りにも少なく危機感も感じています。依って私の当面の目標は、少人数でこそ
顔の見える、まとまりのある楽しい鯨城会作りでした。

でもおかげさまで熱田鯨城会は既にそんな雰囲気のある会でした。

依って私はこのムードある会の継承が仕事と理解しています。

そのために色々なクラブ・同好会や、行事・催しに参加し盛り上げて、熱田鯨城会の魅力アップに少しでも
繋がればと思っています。

それによって熱田鯨城会が発展・増員することを願っています。人生は限られています。

だからこそ、仲間たちとボランティア活動にも参加しながら、今を楽しく充実させて生きて行きたいと
思っています。

私も鯨城学園を卒業してから、社交ダンス・歌会のギター演奏・バウンドテニス・英語教室など楽しい
出会いと学びを経験してきました。

仕事もほんの少し継続しています。今後はパソコンやスマホなども学んでいけるチャンスがあれば
いいなと思っています。

どうぞよろしくお願いいたします。



(役職名)

令和8年度役員名簿

職 名	氏 名	期・学科	備 考
会計監査	橋本 芳樹	32期 地域B	新任
会長	平野 雅美	33期 アクティブ 福祉	新任(鯨城会代議員)
副会長	伊藤 明	32期 環境	新任
副会長	合津 俊樹	37期 陶芸	再任
相談役・総務委員長	佐久間 眞	32期 国際A	新任(道路清掃)(鯨城会HP)
総務委員	日比野ふみ子	37期 音楽B	新任(16区フェス委員①)
総務委員	村瀬 進	37期 美術B	新任(生涯学習まつり)
会計委員	村松 康子	32期 国際B	再任
広報委員(編集長)	伊藤 明	32期 環境	再任
広報委員(副編集長)	高松 和子	34期 健康B	再任
ボランティア委員	奥村 貴史	34期 環境	再任(G.G実行委員)
ボランティア委員	加藤 千鶴	37期 美術B	再任(社会奉仕活動担当)
ボランティア委員	久野 千津	37期 地域B	新任
ボランティア委員	斉藤 謙二	38期 歴史と文化B	新任(鯨城会幹事)
ボランティア委員	阿竹 和子	38期 音楽B	新任(16区フェス委員②)
ボランティア委員	今泉 ユミ子	38期 健康と福祉A	新任
(鯨城会関係委員)			
① 鯨城会幹事	斉藤 謙二(38期 歴史と文化B)		
② 社会奉仕活動担当	加藤 千鶴(37期 美術B)		
③ ホームページ担当	佐久間 眞(32期 国際A)		
④ 16区フェスティバル実行委員	日比野ふみ子(37期音楽B) 阿竹 和子(38期 音楽B)		
⑤ グラウンド・ゴルフ実行委員	奥村 貴史(34期 環境)		

(広報委員会)

広報委員長: 伊藤 明(32期環境)

相談役: 伊藤 正人(25期地域)

委員: 平野 雅美(33期アクティブ福祉)

村松 康子(32期国際B)

日比野ふみ子(37期音楽B)

阿竹和子(38期音楽B)

副委員長: 高松 和子(34期健康B)

顧問: 玉利 繼男(29期生活A)

佐久間 眞(32期国際A)

橋本 芳樹(32期地域B)

奥村 貴史(34期環境)

加藤 千鶴(37期美術B)

斉藤 謙二(38期歴史と文化B)

今泉 ユミ子(38期健康と福祉A)

(ボランティア活動世話係)

◎道路清掃担当: 前田生恵

・ 榎原千代子

◎水質環境検査担当: 下木要人

拠点幹事	地 域	氏 名	期・学科	備考
山本 進太郎	高蔵	尾崎 雅子	24期 健康	
	旗屋	山本 進太郎	30期 文化A	
下木 要人	白鳥 1	高木 治夫	26期 文化A	
	白鳥 2	橋本 芳樹	32期 地域B	
	白鳥 3	下木 要人	27期 健康	
	千年	松浦 啓一	28期 陶芸	
阿知波健 雄	船方 1	伊藤 正	29期 園芸	
	船方 2	阿知波 健雄	27期 生活B	
稲生 雅子	野立	稲生 雅子	26期 文化B	
	大宝 1	伊藤 正人	25期 地域	
	大宝 2	九澤 康雄	31期 陶芸	
	大宝 3	小池 妙子	29期 生活A	
	大宝 4	榎原 千代子	29期 国際B	

令和 8 年度 熱田鯨城会事業計画

1. 事業活動方針

年間実施される各種の行事を通して、会員相互の一層の親睦並びに地域社会への貢献に取り組み、明るく元気な熱田鯨城会を実現したい。

(1) 会員相互の絆づくりを達成するため、親睦会、各種見学会、会報誌の発行等を企画、実行する。

(2) 学園で学んだ地域貢献の大切さ、喜びを具体化すべく、様々な地域活動に参加し、高齢者の生きがいづくりと地域の活性化に取り組む。

(3) 地域活動の担い手を育てるためにも地域ミーティングの重視と、学園現役生の諸行事へ参加推進を図る。

2. 年間の主な事業活動計画

- ① 親睦会を年2回開催
- ② 中学校区担当行事を年2回開催
- ③ 会報誌「花しょうぶ」年2回発行
- ④ 近隣の施設・名所旧跡めぐりを開催
- ⑤ 鯨城現役生への会報配布や鯨城会行事への参加勧奨
- ⑥ 鯨城会クリーンアップ(鶴舞公園、堀川清掃)16区フェスティバル等鯨城会行事への参加。
- ⑦ 土鈴・絵馬作り実施及び熱田生涯学習まつり(趣味の作品展)参加
- ⑧ マラソンフェスティバルナゴヤ・熱田ボランティア参加
- ⑨ 河川水質環境市民モニタリング(新堀川・日の出橋)の取り組み
- ⑩ 道路清掃奉仕(雁道線、大宝2号線)(毎月5日、20日)大宝学区クリーンキャンペーンへの参加。
- ⑪ なごやかハウス横田のボランティア(夏祭り応援)
- ⑫ 熱田区民まつりボランティアへの参加他

3. 令和 8 年度月別活動計画

年 月	事 業 予 定	備 考	担 当
令 8 年 4 月 10 日	定期総会、新会員歓迎懇親会	賀 城 園	全 員 参 加
6 月 9 日	土鈴・絵馬づくり(40 期生地域ミーティング)	熱田生涯学習センター	40 期生参加
6 月 13 日	名古屋市一斉クリーンキャンペーン	大宝学区	参加希望者
6 月 13 日	鯨城会鶴舞公園クリーンキャンペーン	鶴舞公園	10 名程度
7 月 26 日	夏祭り応援ボランティア	なごやかハウス横田	ボランティア委員
8 月 7 日	納涼会	―後報―	総務企画
9 月 1 日	花しょうぶ発行	第 51 号発行	広 報
9 月 10 日頃	こころの絆創膏キャンペーン	地下鉄駅	参加希望者
9 月 日	中学校区担当行事(雷鳴座観劇会)	中学校区合同企画	日比野中学校区担当
10 月 21 日	第 25 回グラウンド・ゴルフ交歓会	庄内緑地公園	参加希望者
11 月 7～8 日	熱田生涯学習まつり(趣味の作品展)	熱田生涯学習センター	全員参加
11 月 11・13 日	地域ミーティング(1 年生:41 期)	各区别グループ分け	鯨城学園
11 月 14 日	堀川清掃大作戦	白鳥橋～大瀬子橋	10 名程度
11 月 15 日	熱田区区民まつりボランティア参加	大瀬子公園	10 名程度
11 月 19 日	第 9 回 16 区フェスティバル	東スポーツセンター	全員参加
11 月 25・27 日	地域ミーティング(2 年生:40 期)	各区别グループ分け	鯨城学園
12 月 5 日	大宝学区自主クリーンキャンペーン	西町公園	全員参加
令 9 年 1 月 15 日	新年懇親会	―後報―	全員参加
1 月 22 日	区会説明会(2 年生:40 期対象)	熱田鯨城会紹介	鯨城学園
2 月 21 日	中学校区担当行事	酒蔵開放	中学校区合同企画
2 月 24 日	鯨城会入会申込日(2 年生:40 期対象)		鯨城学園
3 月 1 日	花しょうぶ発行	第 52 号発行	広 報
3 月 4 日	第 17 回鯨城 OB 文化祭	鯨城 5 階ホール	鯨城事業
3 月 14 日	マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知	(指定場所)	参加希望者

※この他公開講演会(令和 9 年 1 月)こころの絆創膏キャンペーン(令和 9 年 3 月)を予定

新入会員紹介

今後、熱田鯨城会でのさらなるご活躍を期待します



近藤 和美

園 芸

健康ウオーク

千 年

令和8年度 熱田鯨城会に入会いたしました近藤和美です。

39期園芸専攻、クラブは健康ウォーキング、千年学区です。

新しく入ったのが私一人だけだったので少し心細かったのですが、さっそく4月にあった環境美化ボランティアや歌声会では、みなさんに温かく迎えていただけ楽しく過ごせました。

ただ41期音楽 B 専攻に再入学しており、在学中は行事に参加する機会があまり多くはないかもしれません。

鯨城会の取り組みは、私にとって地域に貢献できるだけではなく、自分自身を元気にしてくれる糧です。活動の輪に加わられたのも鯨城で学んだご縁。できるだけ都合をつけて参加したいと思っています。よろしくお願いいたします。

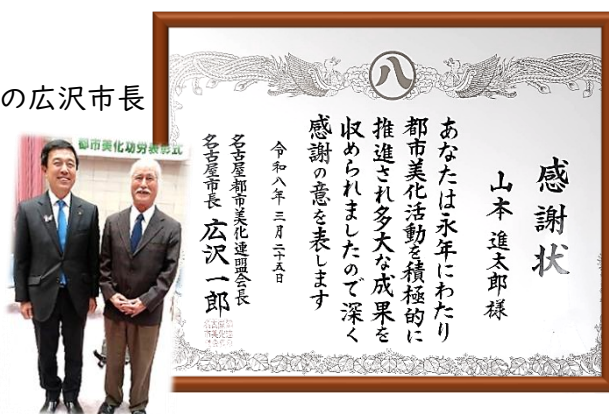
おめでとうございます！

おめでとうございます！

山本進太郎さん(25期文化 A)が名古屋市都市美化連盟会長の広沢市長より感謝状を授与されました。

感謝状贈呈は3月25日、名古屋市公館にて行われました。

山本さんは永年にわたり、地域における清掃美化活動、緑化活動活動などに取り組んでこられました。



学芸員は名探偵



磯部真弓さん(ペンネーム さわ まゆみ) (30期美術)は2026年3月、新しい著作『学芸員は名探偵 陸前高田のたからものをレスキュー』を発売されました。

この作品は、東日本大震災で被災した陸前高田市立博物館の文化財を、救出し、修復を行う、博物館唯一の生存者 熊谷賢学芸員の奮闘記です。磯部さんは、感動ノンフィクション大賞 優良賞を受賞した児童文学者で、被災博物館レスキューの物語は児童書籍としては本書が初刊行だそうです。



令和8年度総会・懇親会

令和8年度の総会と懇親会は、4月10日（金）の昼下がり、賀城園にて開催されました。今年の参加者はやや少なめの28名でしたが、会場にはいつもの和やかな空気が漂っていました。桜が自慢の賀城園ですが、今年は気候の早足に追いつけず、すでに葉桜間近。それでも庭の緑が柔らかく、春爛漫を感じさせてくれました。

まず総会が始まり、この一年に亡くなられたお一人の物故者への黙祷を捧げました。続いて会長あいさつがあり、議事に入ります。

前年度の活動報告や決算報告が順調に進み、役員人事では佐久間眞さんから平野雅美さんへ会長が交代することが決定。

新年度の活動計画と予算案も満場一致で承認され、気持ちも新たに新体制がスタートすることになりました。

懇親会では、まず山本進太郎さんが日頃の美化活動により市長表彰を受けられたこと、磯部真弓さんが東日本大震災に関する新著を出版されたことが紹介され、皆さんから温かい拍手が送られました。



その後、平野新会長のあいさつに続き、橋本さんの軽やかな乾杯で宴がスタート。昼の会合とはいえ、テーブルには選りすぐりの



飲み物が並び、会話も自然と弾みます。

場がほどよく温まったところで恒例の演芸会が始まり、平野新会長のギター伴奏に合わせて「青い山脈」や「瀬戸の花嫁」など懐かしの名曲を大合唱。

最後は熱田鯨城会名物の「炭坑節」で総踊りとなり、会場は一気に最高潮に達しました。

締めは寺田さんがきっちりとまとめ、昼の宴は和やかに開きとなりました。

その後は金山界隈でカラオケを楽しんだ方も多かったようで、春の一日は最後までにぎやかに続いたようです。



中学校区行事:大高酒蔵開き

例年二月最終日曜日は、大高酒蔵開き。酒蔵見学が実施されてきました。
2月22日金山駅集合予定者全員時間通り集まり、幸先よくスタート!!
ところが、ホームでは朝からのJRダイヤの乱れによる列車待ちの人、人で混雑しておりました。

そんな中二人の方が、大高駅に止まらない列車に乗って行ってしまったのです。

二人に電話を掛ける人、ラインに打ち込んでくれる人……

皆が心配し二人に連絡してくれ、一時私共回りのホームは、騒然としました。

追うように次の列車で大高駅へ…間違えて乗った二人は、我々より早く最初の神の井酒造に到着しておりました、というハプニングがありました。

が、天候に恵まれ、ニカ所の酒蔵にて数種類の日本酒の試飲が出来ました。



今年は、ランチの時間を一時間早く設定しましたので、大高町歴史散策等ハイキングには行けなかったようです。

ランチ後元気な人は、大府の「どぶろく祭り」に出掛けました。

(下木)

名古屋ウイメンズマラソン 2026

今年もボランティアで23名が参加しました。

3月8日日曜日9時10分バンテリンドーム名古屋からそれぞれ、シティーマラソン、車椅子ホイールチェアマラソンの約3万3千人が走ってきます。

鯉城会のメンバーは、桜山南の給水所5島と6島を担当することになりました。



この日は天気は快晴でよかったけれど、風がいたずらに吹いて、各場所で大変なことになっていました。

陽が当たらないと「さむーい」となり、きついです。

そんな文句を言いながら、沢山の紙コップに水をそそぎテーブルに並べてランナーを待ちます。

来ました来ました!風のようにかけぬけていくランナーに、みんな大声で応援しました。

しばらくすると、どっと大勢のランナーがコップをめがけて走ってきました。

その中で今年も参加の久野さんが声をかけながら颯爽と走っていきました。

8時半頃から13時頃までの長時間にわたる活動でしたが、とてもやりきった感がありました。

無事に終えて、

地下鉄で少し移動して、

妙音通の「中国料理 大東」にて食事会をしました。

疲れた体にはおいしさが染み渡りました。

今回も皆さん本当にお疲れ様でした。(日比野)



水質調査活動 ー引続き新堀川・日の出橋でー

➤ [水質環境目標値市民モニタリング制度]

名古屋市は、環境基本条例を制定し、国の定める「環境基準」と同等かそれ以上の環境目標値を定め、この目標値と比べて実際はどうかを市民が定期的にモニタリングする制度を設けています。

熱田鯉城会は、平成26年から12年間モニターとして参加し、これまで多くの先輩方が携わってこられました。調査は、春、夏、秋、冬の年4回で、3年間実施するようになっています。

➤ [第7期モニタリング成果発表会]

令和7年度は丁度3年目に当たるため、令和8年3月14日に名古屋都市センター（金山）で第7期（令和5～7年）「成果発表会」が開催されました。

市の担当者から報告によると、河川全27調査地点のほとんどで目標値がクリアできた項目は「水の色」、「匂い」の2項目で、反対に半分程度の地点がクリア出来なかった項目は、「ゴミ（の有無）」と「水の濁り」の2項目であったとのこと。



➤ [第8期モニタリングの応募とモニタリング説明会]

熱田鯉城会は引続き取り組みたいとモニターに応募し、新堀川・日の出橋を第8期（令和8年4月～令和11年3月）も担当することになりました。

また、第8期モニタリングのスタートということで、「モニタリング説明会」が4月18日に名古屋工業大学の教室で開かれ下木さんと佐久間が出席しました。

内容は、モニタリングの概要説明と調査実施方法についてであり、調査方法は、隣の鶴舞公園内の池で体験するというものでした。

下木さんは令和2年度から担当されているので、よくご存知なのですが、私には初めての講習会であり、大変参考になりました。

➤ [今年度初めての水質環境モニタリング]

令和8年5月16日（土）、今年度初めてのモニタリング（調査）を新堀川・日の出橋で行いました。参加者は7名でした。

4月18日の説明会の折、新たな調査グッズ（折りたたみできるバケツや検査キット）を戴いたので、初めて使用する機会となりました。

難しい作業ではありませんので、皆様の参加を期待します。
（佐久間）



ゴキブリ団子作り

5月22日、恒例のゴキブリ団子作りが、神野公民館で行われました。今年も伊藤正人さんご夫妻が準備をして下さいました。

平野会長の挨拶で作り始めました。鯨城会会員10名、大宝学区の保健委員さん6名が参加しました。

用意されている、米糠に薬剤を混ぜた物を、ビール瓶の栓につめ10個ずつ袋に入れる作業です。皆さん手際よく、10時頃始めて、

11時には終わりました。

欲しい人は、持って帰り

ご近所にも配り、ゴキブリの出ないのを祈りました。

(これは私だけかも…) その後、有志でモーニングへ！

和やかに終わりました

(高松)



市内一斉クリーンキャンペーンなごや2026

6月13日(土)10時～ 西町公園に多くの方々が集合して、開催の挨拶がありました。

微力ながら鯨城会は今年も参加させていただきました。

今年は鶴舞公園クリーンと重なってしまい、人数が二分された感じになりました。

ゴミ袋とゴミはさみを持ちながら公園から日比野交差点方面に向かいます。



少し雲が多い空でしたが日差しも射ってきて、結構暑くなりました。

酷暑にならないでと願いながら、ゴミを拾い集め歩みを進めます。

交差点から六番町方面に進みます。

途中、草ぼうぼうの空き地に沢山のゴミがありました。

「空き地だからゴミを捨てていいということはありませんよ！」

いろんな思いを各自持ちながら、ゴールに着きました。

最後にお茶と非常食用パンをいただき、

14名の参加の皆さん大変お疲れ様でした。

(日比野)



鶴舞公園クリーンキャンペーン

6月13日(土) 曇り名古屋でも広大な敷地で四季折々の花が咲く鶴舞公園のクリーンキャンペーンが例年通り行われました。

ヒマラヤ杉並木通路に9:30 集合。

今年度は熱田鯨城会11名。

歴史文化Aクラス(40期、41期)

25名の参加です。

開会式のご挨拶と確認事項の後、噴水塔より

西南区域が私達の清掃担当となりました。

ゴミは例年以上に少なく、お喋りをしながら

アジサイロードを

横切り珍しい草木に足が止まることもありました。

昨年に比べ気温が低く動きやすかったように思います。

50分弱でしたが安全に回る事が出来てホッとしました。



ジャカランダ

1つ思う事は、学生さんとの交流を兼ねるのであればクラス単位よりも熱田区在住の学生さんと回るのであればもっと楽しく親密になれる気がしました。

(加藤)

道路清掃ボランティア



毎月5日と20日暑い日、寒い日老体に鞭打ってボランティア活動を行いました。

後のお茶タイムを楽しんでいます。



土鈴・絵馬づくり(令和 8 年度地域ミーティング)

6月9日(火)生涯学習センターにて土鈴・絵馬づくりを行いました。今年も地域ミーティングのメイン行事として、来春卒業予定の40期生のうち6名が参加していただきました。

また鯨城学園から原田先生、社会福祉協議会から酒井さんが駆けつけていただきました。

熱田鯨城会からは指導役の松浦さん(28 陶芸)はじめ11名が参加しました。

平野会長のおあいさつに続き、学園の原田先生、社協の酒井さんのおあいさつのあと、佐久間副会長から熱田鯨城会の概要と土鈴・絵馬づくりの目的について説明があり、さっそく作業が始まりました。

なにしろ初めてのことで、とくに土鈴はうまく形を作るのに苦心したようですが、皆さんは大変熱心に取り組んでいただき、無事予定の数を作ることができました。出来た製品は10日ほど乾燥した後焼成して、秋の生涯学習祭りに使用します。参加された40期生の6名はもちろんですが、来年4月には一人でも多くの方に仲間になっていただきたいと思います。



(伊藤 明)



公開講座「命と都市をつないだ人」を受講して

7月17日(金)、上記鯉城学園公開講座を受講しました。講演の副題に「後藤新平は名古屋に何を残したか」とあり、その内容は後藤新平(1857-1929)の名古屋時代に焦点を当てたものでした。

福島県の医学校を19歳で卒業した後藤が、彼を評価し寄宿させ、学資も出してくれた阿川なる人物が、愛知県に転勤になった折、丁度愛知県が新病院医学校を設置し、同校にドイツ人医師を招くことを知り、向学心に燃えた後藤も、1876年、愛知県病院(のちの名大病院)の当直医となったのが名古屋勤務の始まりでした。

その後、1887年愛知県医学校校長兼病院長を辞し、内務省衛生局に入省するまでの名古屋での活躍は、多くの医師の指導育成と、招聘されたオーストリア人医師ローレツから学んだ衛生学の知識獲得にあったといえます。従って本講演内容が医師の養成の功績に絞られ、その後の官僚としての目覚ましい活躍には触れられませんでした。その代わり、後藤が居た頃の名古屋の貴重な映像資料や後藤新平を称える相撲甚句の披露などがあり、バラエティに富んだ楽しい講演でした。

衛生学を学ぶ中で後藤は、「私は人体を治療する医者であるより、むしろ国家を治療する医者でありたい。」という望みを持ち、名古屋以後、官僚、政治家として多方面にわたる活躍をすることになります。

内務省衛生局時代に後藤は、ドイツ留学時、友人の北里博士を通じてコッホに面会し、衛生行政についての示唆を受け、理化学的衛生学を基礎とした衛生行政の研究を深めました。そして

1895年、日清戦争終結後の帰還兵23万人に対し、臨時検疫所を設け、検疫消毒を徹底して国内への伝染病蔓延を防止した功績は大きいものでした。

続く1898年からの台湾総統府民生長官では、清国から“文化の外(そと)の地・民”と扱われていた台湾を、住民の自主自立の精神の醸成、各種インフラの構築に力を入れ、「国家衛生原理」を実践して、台湾を独立の経済圏となるよう導いています。



帝都復興計画案略図

環状道路計画や高速度交通機関等が織り込まれており、近代都市計画についての先見性が示されている。

その後後藤は、満鉄総裁、外務大臣、東京市長などに就任しますが、1923年に勃発した関東大震災直後、内務大臣に任命され、帝都復興院総裁を兼務し、帝都復興に携わります。

その復興計画が壮大で、「大風呂敷」と揶揄され、残念ながら多くは復旧事業に盛り込まれませんでした。現在の東京の随所に後藤の都市計画の一端が残されています。

一人で何人分の仕事をした稀有な偉人と私は思っています。

(佐久間)



おもてなし一斉清掃

2026 年 9 月 19 日から開催される「第 20 回アジア大会、第 5 回アジアパラ競技大会」に向けて

名古屋市では「大会 50 日前カウントダウンおもてなし一斉清掃」が実施されました。

熱田鯨城会でもこの企画に協賛して 7 月 31 日朝 9 時から日比野交差点を起点に中央卸売市場、国際会議場に沿って道路清掃を行いました。

朝からガラガラと太陽が降り注ぎ熱中症警戒アラート発令中の中熱田鯨城会の旗を先頭に 14 名の方の参加を得て道路清掃に励み、1 時間 30 分の後皆さん汗にまみれながら収集したごみを種類別に分別して「大会 50 日前カウントダウンおもてなし一斉清掃」を終えました。

この暑さの中幸いなことに一人も倒れることなく無事に終えたことは幸いでした。

この清掃をきっかけに一人でも多くの方が大会に関心を持ち、盛り上げていく様頑張りましょう。

(橋本)



納涼会

8月7日(金)午後5時から、恒例となった鯨城会の納涼会が、昨年に続き熱田駅前の「あもり」で開催されました。今年は19名が参加し、仕事帰りの方や久しぶりに顔を合わせる方もそろい、会場は開始前から和やかな雰囲気に包まれていました。

冒頭では平野会長より、「元気に夏を乗り切りましょう。秋は催しも多いので積極的に参加してください」とのあいさつがあり、続いて力強い「乾杯!」の声とともに納涼会がスタートしました。

この日は暦の上では立秋でしたが、名古屋らしい蒸し暑さが残り、まだまだ夏の盛りを思わせる気候でした。それでも参加者は暑さに負けることなく、飲み放題の後押しもあって杯を重ね、ご馳走を楽しみながら会話に花を咲かせました。



普段は口数の少ない方々も、この日ばかりはあの話、この話と話題が尽きず、各テーブルから笑い声が絶えませんでした。盛り上がりは終始続き、鯨城会恒例の替え歌が披露される間もないほどで、気がつけば終了の時間となっていました。最後は参加者全員で健康を願い、景気よく一本締めを行い、今年の納涼会は明るい余韻を残してお開きとなりました。

外に出るとまだ日が残りに、熱気もそのまま。ちょうど神宮東公園では盆踊りが開催されており、そちらへ向かう人や、もう少し飲みたい、歌いたいと連れ立って夜の街へ散っていく人の姿も見られました。

夏の夕暮れらしい賑わいの中、参加者それぞれが思い思いの時間を楽しみながら帰路につきました。

(AI 作成)



＜熱田をもっと知ろう＞三大古墳巡り

6月12日、＜熱田をもっと知ろう＞の第3弾として、18人が集まり、「熱田史跡ガイドの会」の佐久間、水野、伊藤正のガイドにより熱田の三大古墳を訪ねました。

以下、その概要をご紹介します。

◎ 高蔵古墳群

熱田神宮の境外摂社である高蔵結御子神社の周辺には、いずれも6世紀後半に造られたとみられる小型の円墳や方墳が8基、調査確認されています。

特に神社北側の1号墳は、直径約18m、高さ約2mの円墳で、昭和29年、愛知県の高蔵公園の整備に先立って、名古屋大学考古学研究室によって発掘調査が行われ、全長10mの前室、後室からなる丸石で組みあげられた横穴式石室がみつかりました。この石室からは、5体の人骨の一部のほか、多数の土器、鉄製品、ガラス玉の装飾品などの副葬品が出土しました。1号墳の調査後墳丘は取り壊されて現存せず、丸石も所在不明となっています。

このほか、神社境内にある4号墳は、手つかずのまま、往時のほぼ原形をとどめているとみられています。また、その後行われた5、7、8号墳の発掘調査では、石室、周溝などが確認されたほか、土器も出土しています。

なお、1号墳から出土した副葬品は、令和2年、その全数が名古屋市博物館に寄贈されました。博物館では、これらの整理、クリーニング、X線解析などを行ってきた結果、銀線入りの銀装飾鉄刀や百済由来の鉛ガラス玉などが確認され、被葬者はヤマト王権に近い人々であったとみられており、令和10年4月リニューアルオープン予定の博物館常設展示の目玉とされる予定です。



高蔵1号墳出土資料（図版目録より）

◎ 断夫山古墳

断夫山古墳は、墳長約150mの東海地方の最大級の前方後円墳で、ながらく日本武尊の妃である宮簀媛（みやすひめの）命の墓として、熱田神宮によって守られてきました。それが戦後、熱田神宮公園の一部として愛知県有となったもので、昭和62年には国の史跡として指定されました。

過去、墳丘周辺からは幾多の円筒埴輪が、また、造出部からは多量の須恵器が検出されており、その制作年代は5世



断夫山古墳出土円筒埴輪
（しだみ古墳群ミュージアム展示）

紀末から6世紀前半と推定されています。その被葬者は、現在の皇室に直接つながる継体天皇の妃の目子媛（めのこひめ）か、その父親である尾張連草加（おわりのむらじくさか）とする説が有力です。

現在の墳丘の形は、戦後、公園の整備に伴って形造られたもので、令和元～4年度に部分的な発掘調査が行われて須恵器の破片なども出土し、史跡の範囲も追加指定されました。

さらに、本年2～3月には早稲田大学考古学研究室による地中レーダー探査が行われ、石室らしいものが検出されたとの情報もあります。



古墳巡りの当日は、レーダー探査のため墳丘のクマザサも刈り込まれており、天候にも恵まれたため、高さ16mの古墳「登山」では頂上の景観を楽しむことができました。

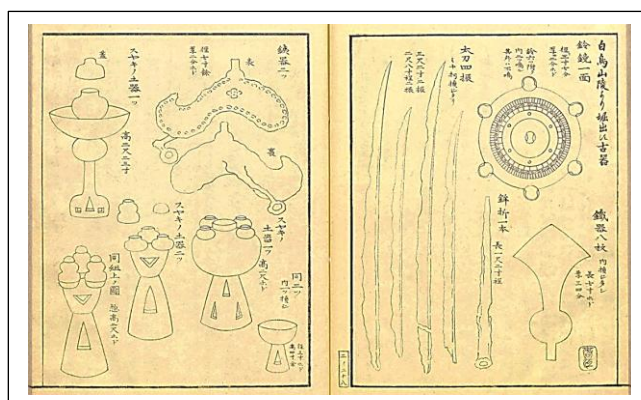
◎白鳥古墳

白鳥古墳は、墳長約70mの前方後円墳で、造られたのは断夫山古墳よりやや後の6世紀前半から中頃と考えられています。

この古墳は、古くから、日本武尊が逝去して白鳥となって飛びたつた後に舞い降りた地の一つとされ、平安時代、弘法大師が熱田神宮に参籠（さんろう）の折、尊の遺徳を慕ってここに祠を建立し、以降その後身となった法持寺によって管理されてきました。

それが明治に入って、「神跡」として熱田神宮の所属となり、戦後は「白鳥古墳公園」として名古屋市の所有となりました。さらに昭和30年、宮中学の創設とともに古墳の南側にあった法持寺の本堂と境内が白鳥古墳の東側に移転し、現在、東側3分の1近くが法持寺の境内となっています。

この古墳では、天保8年（1837年）、暴風雨で石室が露出し、六鈴鏡、鉄刀、馬具、土器などの副葬品が明らかになりました。そのため法持寺の僧が寺社官に言上し、評議の結果、旧状に復すこととなり副葬品は全て石室に戻されました。その時の石室の様子や出土遺物は「尾張名所図会附録」などに写図として残され、貴重な資料となっています。



出土遺物の写図（尾張名所図会附録）

（伊藤 正）

同好会の活動

ハイキング同好会



ハイキング同好会

連絡先 小 粥 090-8540-4058
阿知波 090-9449-3330

ゴルフ同好会



ゴルフ同好会 連絡先 高 木 090-8131-4440
阿知波 090-9449-3330

M&L 同好会



M&L 同好会(映画とランチ)

連絡先 佐久間 080-5190-5928

開催案内と申し込み

グループラインでメールまたはイベントとして告知しライン上で申し込みですが、初参加の方はそのおね世話役にお知らせください

*M&L はチケットの事前手配が必要なので独自のグループラインがあります。

健康麻雀同好会



健康麻雀同好会

連絡先 阿知波 090-9449-3330

熱田歌声会



熱田歌声会 連絡先 寺田 090-5000-0345
村瀬 090-3384-0415



令和8年度総会 賀城園にて

編集後記

シンガポールに住んでいた友人が、「この国には hot hotter hottest の三季しかない」と話していたことがあります。日本も近年は、夏と夏以外の二季になったように感じられます。

季節の変化を大切にしてきた俳人の先生方も、さぞご苦労が多いことでしょう。

さて51号はいかがでしょうか。

今年は夏に行われていた横田ハウスの祭りが秋に移ったり、恒例の小旅行が夏までに実施されなかったりと例年とは異なる点もありましたが、行事は順調に行われ、記事としてお届けできました。この秋はアジア大会やパラ大会などビッグイベントで市内は賑やかになりそうです。

今後もより読み応えのある「花しょうぶ」を目指してまいります。(伊藤)

発行責任者 平野 雅美 (33 アクティブ福祉)

編集長 伊藤 明 (32 環境)

編集者 平野 雅美 (33 アクティブ福祉)

村松康子 (32 国際 B)

日比野ふみ子 (37 音楽 B)

阿竹 和子 (38 音楽 B)

顧問 玉利 繼男 (29 生活 A)

副編集長 高松和子 (34 健康 B)

佐久間 眞 (32 国際 A) 橋本 芳樹 (32 地域 B)

奥村 貴史 (34 環境) 加藤 千鶴 (37 美術 B)

斎藤 謙二 (38 歴史と文化 B)

今泉ユミ子 (38 健康と福祉 A)



花しょうぶQRコード



発行者 : 名古屋市高年大学熱田鯉城会
名古屋市鯉城学園